

# スノーシューで森林散策

南富良野高生 草木、動物の足跡観察



金村さん(左)の説明を聞きながら、スノーシューハイクを楽しむ南富良野高生ら

位に入り、全国の切符をつかんだ。

昨年に続いて2度目の全国となる小林さんは男子大回転と回転に出場する。昨年は「あまりよくなかった」というが、長野県内の同じスキー場で行われる今年には「大回転で優勝したい」と力強く抱負を語る。

亀渕さんは女子大回転に出場する。兄の影響で4歳のときにスキーを始め、小学校に入ってから本格的にアルペン競技に取り組んできた。初の全国大会を前に「2回ともしっかりタイムをそろえて滑りたい」と意気込んでいる。

(立木大造)

スノーシューをはいて雪面を歩く「スノーシューハイク」を行った。晴天に恵まれた中、草木や動物の足跡などを観察しながら大自然を満喫した。

町の観光資源である多彩な野外活動について学ぶ、学校設定科目「アウトドアI」の一環で、29日に実施。ガイドは、どろんこ野外学校スタッフの金村孔介さん(46)らが務めた。

まず、金村さんが「ケガがないように常に安全に気をつけよう」などと、冬の野外活動のポイントを説明した。

その後、スノーシューをはき、同校の敷地周辺を散策しながら、キツネとみられる足跡やミズナラの木を観察。途中、雪の斜面を滑り台に見立てて滑るなどして楽しんだ。

スノーシュー体験は2回目という鐘ヶ江湊さん(16)は「雪が降るからこそできるアウトドアだと思っ。新鮮で楽しかった」と話した。

(千葉佳奈)

【南富良野】南富良野高1年生19人が、町内落

合のNPO法人どろんこ野外学校周辺の森林で、